

空港等機能高質化に向けた取り組み

空港の就航率向上等のための事業・調査や、需要の増大に対応した空域容量の確保のための空域・航空路の抜本的な再編、主要都市から空港までのアクセス改善等、既存ストックを活用した空港等の機能の高質化を図ることを通して、我が国全体の国際競争力や空港後背地域の地域競争力強化、空港利用者の利便増進を図る。

ILS(計器着陸装置)の高度化等による就航率向上事業

低視程時や悪天候時においても安全に着陸できる機会の増加を図るため、ILS(計器着陸装置)の高カテゴリー化や双方向化の整備を推進。

【ILSの高カテゴリー化】

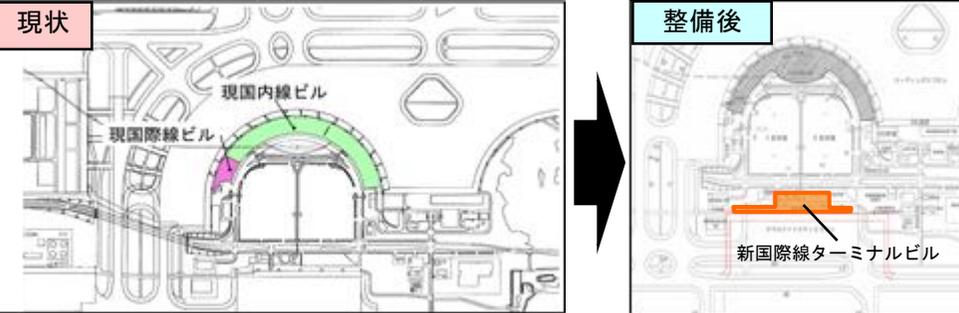


平成19年度において整備中のもの
広島空港
(新規CAT III)
福江空港。女満別空港
(ILS双方向化)

国際旅客ターミナルの整備事業

国際線旅客の増加に対応するため、CIQを含む国際旅客ターミナルの機能向上やエプロンの整備等を実施。

【新千歳空港】



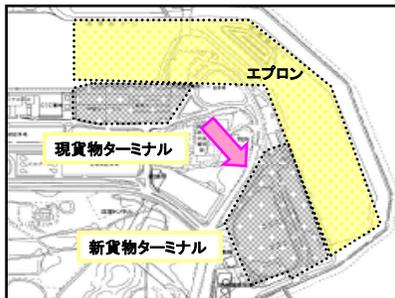
物流機能高度化推進事業

アジア主要都市と日本との間を面で結ぶ国際競争力を備えた航空物流機能の強化に資するよう、国際貨物取扱機能の強化拡充を図る。

【那覇空港における

「貨物ターミナル地区の再編」】

国際貨物取扱機能の強化拡充



空港アクセス改善事業

拠点的な空港への鉄軌道系アクセス等による空港アクセスの利便性向上に資する事業を実施。

